Qiskit Fall Fest 2024

量子コンピューター入門



Dec 19, 2024

Created by Kifumi Numata Edited & Presented by Hiromichi Hayashi

Original: https://github.com/quantum-tokyo/kawasaki-quantum-camp/blob/main/day1/20240730_Intro.pdf







量子とは?



量子の不思議な現象:量子重ね合わせ

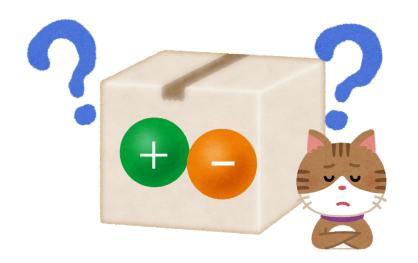
量子は1つしかなくても、複数の状態を同時にとることができます。

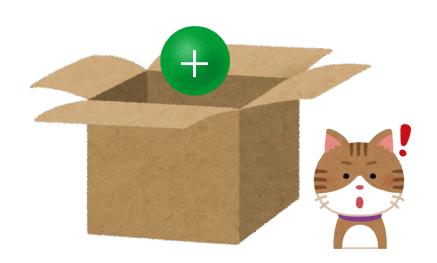




量子の不思議な現象:量子重ね合わせ

量子は1つしかなくても、複数の状態を同時にとることができます。





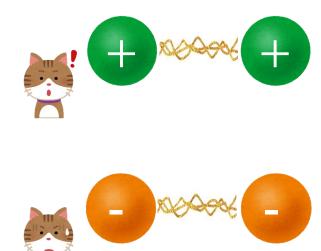
例えば、+と一の2つの状態が共存していて、観測するとどちらかの状態に決まります



量子の不思議な現象:量子もつれ

「量子もつれ」という特別な関係のふたごの量子は、 片方の状態を測定すると、もう片方の状態が測定しなくても分かります。 (片方しか測定していないのに!)

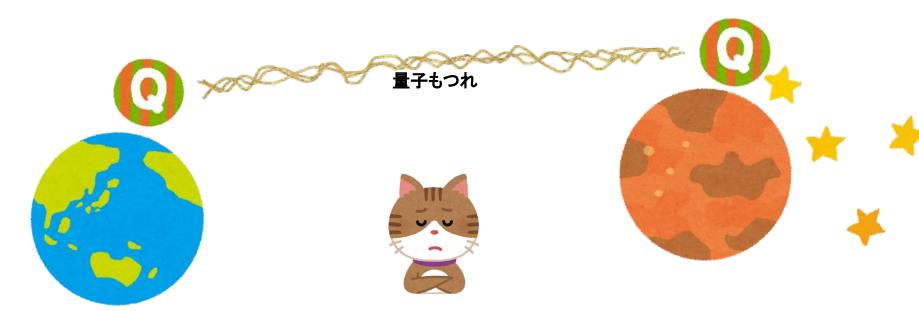






量子の不思議な現象:量子もつれ

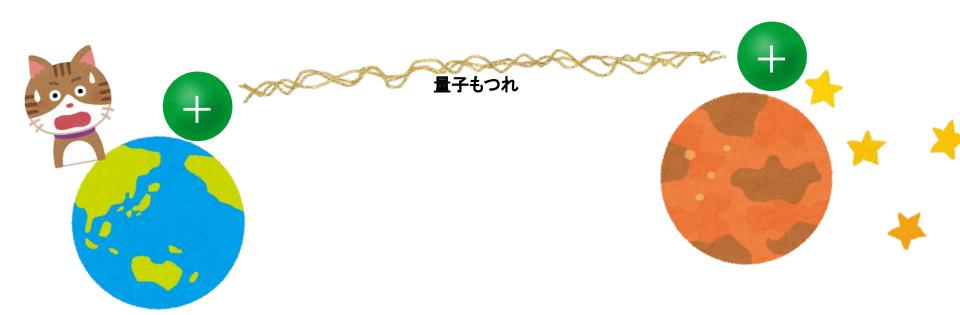
「量子もつれ」状態のふたごの量子を離れ離れにします。
地球の量子を測定して「+」と判明したら、火星の量子の状態はどうなるでしょうか?





量子の不思議な現象:量子もつれ

「量子もつれ」状態のふたごの量子を離れ離れにしても 片方を測定するだけで、遠く離れたもう片方の量子の状態は測定しなくても分かります!





自然界は古典的な理論では説明できない。 だから、**自然を予測したいのであれば、** 量子力学の原理でコンピューターを作らなくてはいけない。

Simulating Physics with Computers

Richard P. Fevnman

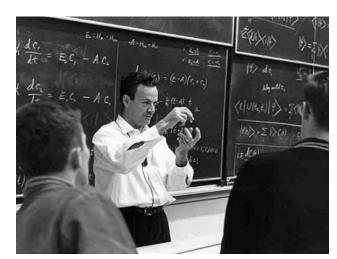
Department of Physics, California Institute of Technology, Pasadena, California 91107

Received May 7, 1981

International Journal of Theoretical Physics, Vol. 21, Nos. 6/7, 1982 コンピューターによる物理現象のシミュレーション

Richard P. Feynman

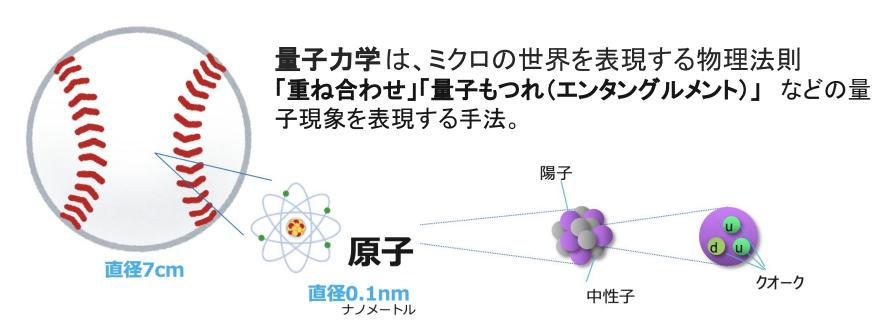
Department of Physics, California Institute of Technology, Pasadena, California 91107



ファインマン先生



量子コンピューターは 量子の現象を仕組みとして使ったコンピューター

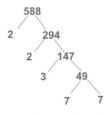


量子コンピューターは、この自然界に存在する**量子力学**の法則を利用したもの。これまでのコンピューターの計算処理とは根本的に異なる手法を使っています。

従来のコンピューターが苦手な分野



2048ビットの整数(619桁の整数)の 素因数分解 (量子だと8時間で解ける!?[2]) 小さな分子のシミュレーションは スーパーコンピューターでも困難 従来のコンピューターでは真の 乱数生成はできない



素因数分解



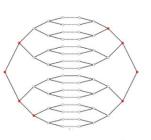
新しいセキュリティー技術





創薬、新しい材料研究



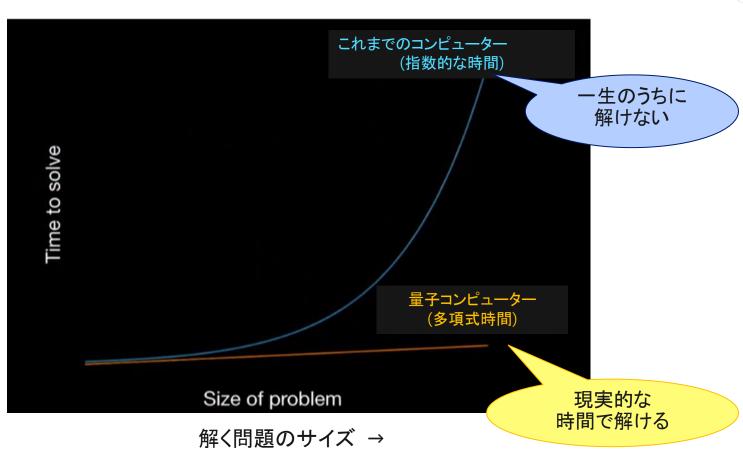


乱択アルゴリズム



探索、決定問題への応用

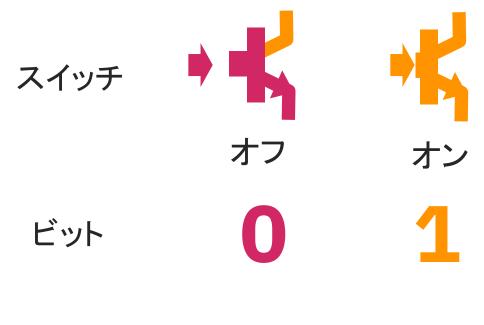






コンピューターの中は、ビットで計算







例)	文字列	ビット
	7	111
	A	0100 0001

いつも使っている コンピューターのビット

0 または **1**

どちらか

コイン 表 表 おもて うら



OISKIT

両方 **「重ね合わせ」**

くるくる回っているコイン(イメージ)

測定すると表か裏にバシッと決まる



重ね合わせ状態の量子ビット













重ね合わせ状態の量子ビット



五分五分でない状態も作れる



測定











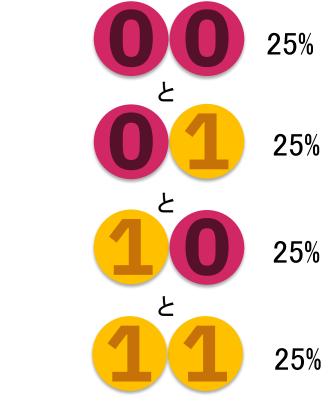


2量子ビット









のうちどれか1つ











3ビット

3量子ビット

















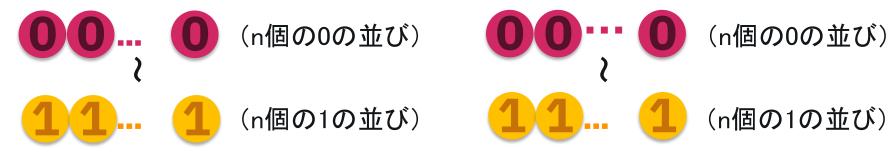






nビット

n量子ビット



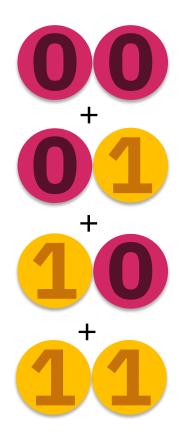
までの2ⁿ個の可能な状態のいずれか

までの2ⁿ個の可能な状態の **重ね合わせ**

この重ね合わせは、量子計算の特徴の1つです。

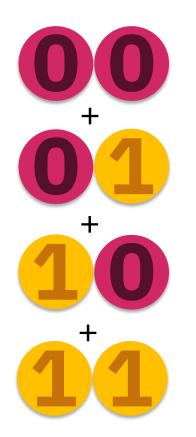
量子重ね合わせ



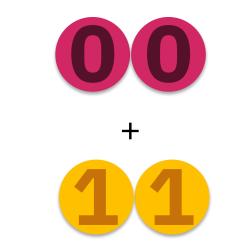




量子重ね合わせ



エンタング ルメント (量子もつれ)



ベル状態

複数の量子ビット同士に ある特定の強い相関関係がある



量子重ね合わせ







エンタング ルメント (量子もつれ)



+



015KI7 2024 2024 9LL FES

量子重ね合わせ









エンタング ルメント (量子もつれ)



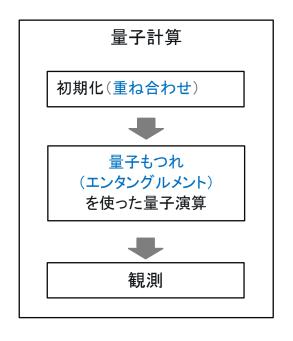


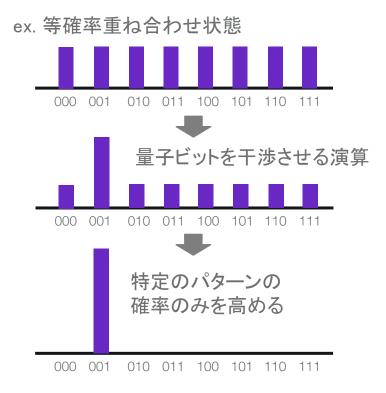
GHZ状態

50%

量子計算まとめ





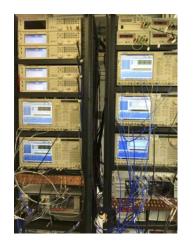


量子計算では、量子状態の重ね合わせを干渉(量子もつれ)させて、ほしい解を取り 出す。

量子コンピューターの構造



室温



マイクロ波電子工学

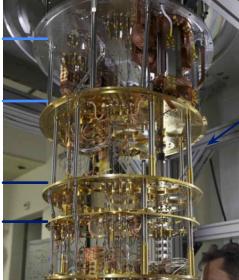
40K

3K

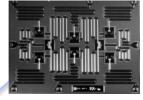
0.9K

0.1K

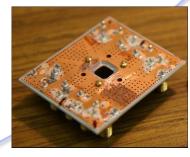
0.015K



宇宙マイクロ波 背景放射 2.7K



超電導量子ビットと共振 器のチップ



量子ビットチップの搭載 された基板は15mKの温 度で複数のシールドに よって保護されている。

³He と ⁴Heの混合体によって量子ビットを15 mKまで冷却する 冷蔵庫

現在の量子コンピューターはまだノイズ の影響を受けやすい



Noisy Intermediate-Scale Quantum Computer ノイズのある小中規模の量子コンピューター



Fault-tolerant Universal Quantum Computer エラー耐性のある万能量子コンピューターへ

まとめ



量子コンピューターは

- 量子力学の性質(重ね合わせ、もつれ)を使った新しい計算技術。
- 従来のコンピューターよりも速いのではなく、異なる原理(量子力学の原理)を活用して、効率良く解を導きだす。
- 黎明期のテクノロジーであり、実用化に向けて今後、量子システムの性能を全体的に高めていくことが必要。
- 創薬、新しい材料の開発、最適化問題、そしてAIなどへの応用も期待。



